

子育てかわら版

所沢市立宮前小学校
令和4年度

No.05



令和4年5月3日(火)の埼玉新聞の「自立心を育むお手伝い」に次のような記事が掲載されていましたので、ご紹介します。

ルールを作ったら親も守るー！

「宿題が終わらないと、ご飯を食べさせないよ!」「今度時間通りにゲームをやめなかったら捨てるよ!」親が子供に対してこんなルールを作ったことはありませんか。しかし、子供はルールを守れず、また叱られてしまいます。何でルールを破ってしまうのでしょうか。ところで、冒頭に挙げたルールを本当に守る親がどれくらいいるでしょうか。

子供がルールを守らなくてもご飯を食べさせないわけにはいきません。高いお金を払って買ったゲーム機を捨ててしまうのも気が引けます。結果的に子供はルールを破ってもたいしたことにはならないということに気が付きます。大人たちが根負けし

お互いにイーズンな関係に

ルールを破ってしまうことがほとんどなのです。他にも子供に十分な説明をせずに禁止していることがあったりもします。これではルールを守る練習にはなりません。むしろ、やりたくないと言いつつ続けたいという何とかなると感じてしまいます。

お手伝いを例にすると、「お手伝いをしたら(しなかったら)××」というルールを決めたら、大人もしっかり守ることが大切です。そして大人がルールを破った時には子供に謝罪することも忘れてはなりません。お互いにイーズンな関係をつくり、親から認められたと子供が感じることでできれば、ルールを守る子供に慣れると思います。

(令和四年五月三日 埼玉新聞
「自立心を育むお手伝い」から)

子供たちとの安易な約束は、それが守れなかったときお互いの信頼関係を損ねてしまいます。子供たちと交わした約束を大人は絶対に守り、また、子供たちにも守り切らせることが大切です。よい信頼関係を築いていきたいものです。

